

平成23年度 市民まちづくりゼミナール

福井の文化を学ぼう 部会 成果報告会資料

実施時期	活動内容・開催場所ほか
4月5日(火) (部会)	平成23年度の活動内容検討、及び、意見交換と役割分担についての話し合い
5月14日(土) (現地調査)	<b>福井市国山町・採掘坑道跡と愛染寺の聞き取り調査、及び、現地研修会</b>
6月1日(木) (部会)	現地研修会のまとめ「笏谷石の分布と石質について」 活動内容の具体化、内容、スケジュール決め
6月9日(木) (勉強会)	<b>講師：吉澤館長「足羽山と笏谷石」の勉強会</b>
7月7日(木) (部会)	勉強会のまとめ「笏谷石の石質と足羽山について」
8月4日(金) (部会)	北前船と笏谷石との関連、事前勉強会と8月5日(金)のイベント 講演会参加についての打ち合わせ
8月5日(金) (イベント参加)	北前船みちのく丸・日本海文化交流「三國湊会場」 <b>(往時の運搬パフォーマンスの笏谷石運搬に参加)</b> ※ふくい笏谷石の会より笏谷石製「みちのく丸日本海巡航記念碑」寄贈
8月5日(金) (講演会参加)	北前船みちのく丸・日本海文化交流「三國湊会場」 <b>(北前船フォーラム in 三國に参加)</b> ※北前船交易にみる笏谷石の歴史と移出・講演会参加
9月8日(木) (部会)	イベント・講演会参加の反省会 笏谷石の北前船による歴史と移出のまとめ作業(1)
10月6日(木) (部会)	笏谷石の北前船による歴史と移出のまとめ作業(2) 市民向けに分かりやすくする方法論について
11月2日(水) (部会)	笏谷石の北前船による歴史と移出のまとめ作業(3) 市民公開講座の広報活動について(1)
12月21日(水) (部会)	市民公開講座の事前勉強会(笏谷石の狛犬) 市民公開講座の広報活動について(2)・親睦会
1月12日(木) (部会)	市民公開講座の準備、レジメ等の資料用意と役割分担 ※ ふくい笏谷石の会への事業移行について
1月14日(土) (公開講座)	<b>市民公開講座「笏谷石の狛犬(仮)」</b> 講師/福井県立歴史博物館 学芸員 瓜生由起 氏
2月15日(水) (部会)	市民公開講座の反省会・アンケートのまとめ等 平成23年度の活動報告書等について

## ■活動テーマ

～1500年の歴史と文化を再発見・ふくい～

### 笏谷石を訪ねて PART-IV

1500年もの間、福井市の歴史と市民の暮らしの中に、共にあった『笏谷石』  
その美しい石の持つ魅力とその背景にある

歴史的文化的財産を活かす、まちづくりとは・・・。

私たち市民が、歴史に学び、文化を発信し、新しい文化へと創造する。  
その活動が、自主的、主体的な市民活動として継続できる様、発展させていきます。

「福井の文化を学ぼう部会」では、今までの経験と実績をもとに、『笏谷石』をさらに学び、調査し、情報発信する事を部会の中心活動としてきました。また同時に、これらの活動や事業を、来年度以降「ふくい笏谷石の会」にスムーズに移行するための活動を行ってきました。

#### 平成24年度(来年度)に向けて、「ふくい笏谷石の会」に事業移行

- ・ 笏谷石文化のネットワークづくりに関すること
- ・ 笏谷石文化に関する情報の収集と共有に関すること
- ・ 笏谷石文化のブランド化に関すること
- ・ 笏谷石文化の普及啓発活動に関すること
- ・ 笏谷石文化による“まちづくり”に関すること
- ・ 笏谷石文化の調査研究、保存に関すること
- ・ その他、本会の目的を達するに必要な事業

## ■活動展開

「福井の文化を学ぼう部会」の事業として、勉強会や調査会、市民公開講座を中心に活動しながら、「ふくい笏谷石の会」との事業にも協力しました。

5月14日(土)福井市国山町・採掘坑道跡と愛染寺の聞き取り調査



6月9日(木)講師：吉澤館長「足羽山と笏谷石」の勉強会



8月5日(金)北前船みちのく丸・日本海文化交流「三國湊会場」

(往時の運搬パフォーマンスの笏谷石運搬に参加)

※ ふくい笏谷石の会より笏谷石製「みちのく丸日本海巡航記念碑」寄贈

(北前船フォーラム in 三國に参加)

※北前船交易にみる笏谷石の歴史と移出・講演会参加



# 笏谷石のふるさと 福井市足羽山 から 三国港へ

そして**北前船**に積まれて、  
日本海沿岸の各地に運ばれ「笏谷石文化」を形成しました。

## 笏谷石の移出遺産

福井県福井市の中心に位置する足羽山が、青く美しい越前の名石「笏谷石」のふるさとです。

近世、笏谷石は足羽川から九頭竜川を下り、三国港に運ばれ、そこから西廻り航路の北前船によって日本海沿岸の各地に運ばれていきました。加賀、能登、越中、越後、出羽、陸奥、北海道へと、その範囲は広く、優れた石造りの美術が日本各地に残されています。

これらは、北前船によって全国各地に運ばれ広がった壮大な「笏谷石文化圏」ともいえる遺産です。



北海道江差町 回船問屋旧中村家の土台



青森県深浦町円覚寺 宝篋印塔



下北半島恐山 常夜灯



青森県弘前市八幡宮 狛犬



山形県鶴岡市楯尾神社 石鳥居



北海道松前町法幢寺 松前藩歴代藩主石廟



北海道函館市 高田屋嘉兵衛資料館の笏谷石を積んだ壁



平成23年 北前船の復元船「みちの丸」航路

## 1月14日(土)「笏谷石公開講座」

テーマ：「ふくいのはつぐい 狛犬～笏谷石の造形と歴史～」

と き：平成24年1月14日(土)

13:30～15:00 〈開場〉13:00

ところ：福井県立歴史博物館・講堂

講 師：福井県立博物館 学芸員 瓜生由起 氏

内 容：

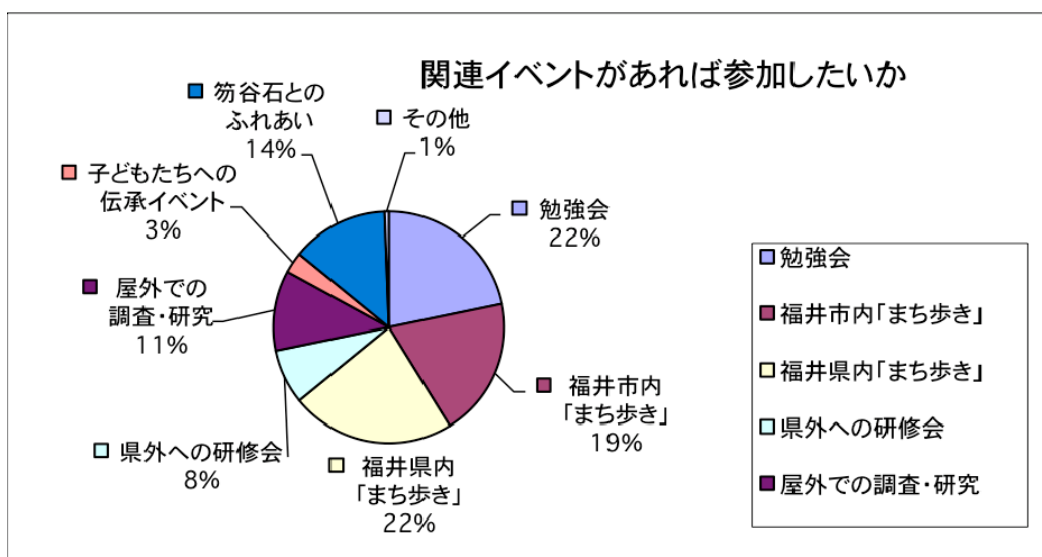
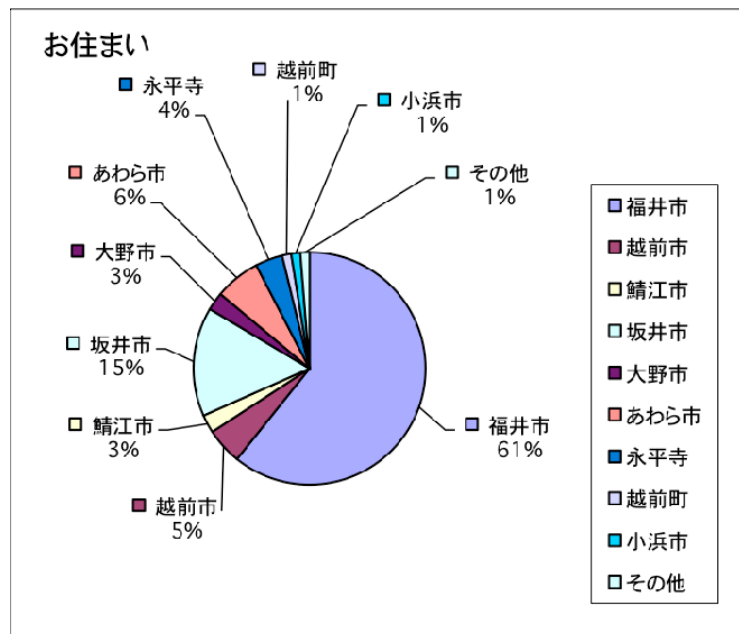
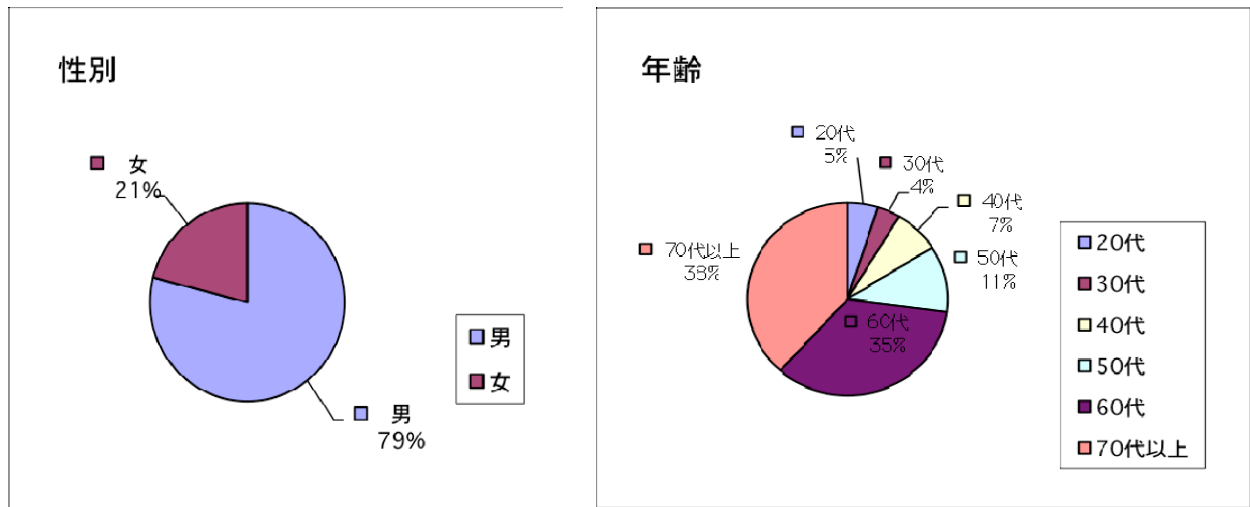
「狛犬」というと、みなさんはどんなイメージをお持ちでしょうか？口を開けた阿形と閉じた吽形の一对で、神社の参道の両側で足を踏ん張ってにらみをきかせている姿、高い台のうえの大きく迫力のある姿・・・身近に見られるさまざまな姿が浮かぶと思います。しかし、実は福井県、とくに嶺北地方を中心とした地域には、また違った狛犬たちが伝えられています。それも、中世以来、約450年にもわたって県内各地の社に数多く残されているのです。

それが、「神殿狛犬」たちです。参道狛犬よりも小型で、神社の拝殿や本殿にひっそりと置かれていたり、あるいは神社の脇や床下などで眠りにについているために、なかなか目に留まる機会の少ない狛犬たち。その特徴や魅力をご紹介します。

また、そうした狛犬たちは、日本海側を中心に東海地方や西日本にも運ばれています。ふくいでも、そして日本各地で愛されてきた笏谷石の造形のひとつとして、狛犬に思いを寄せていただければと思います。



●公開講座の参加者は、142名。  
 そのうちアンケート回答者は81名でした。回答率57.0%



## ふくい笏谷石の会への事業に協力(1)

### 笏谷石製「みちのく丸日本海巡航記念碑」

平成23年7月から8月にかけて、青森市のみちのく北方漁船博物館が建造した北前船の復元船「みちのく丸」が日本海沿岸一道八県の港を巡航し、福井県の三国港には8月5日に寄港します。

江戸時代から福井の産物として三国港から問屋商人を通じて多くの笏谷石が日本海沿岸地方へ移出され、今も各地に多く遺存し、日々新しい発見も報告されています。

この度、「みちのく丸」の三国港寄港を機会に当時の移出を再現し、「笏谷石のふるさと・福井」から 笏谷石製「みちのく丸日本海巡航記念碑」を三国港から、青森市のみちのく北方漁船博物館まで運び、母港繋留地周辺に建立することとなりました。



平成23年8月5日

# 平成の北前船「みちのく丸」に笏谷石を積みました

## 1. 背景

平成23年7月から8月にかけて、青森市のみちのく北方漁船博物館が建造した北前船の復元船「みちのく丸」が日本海沿岸一道八県の港を巡航しました。福井県では8月3・4日小浜、8月5日三国へ寄航しました。

17世紀はじめから、福井の特産品の一つとして笏谷石が三国港の間屋商人を通じて日本海沿岸の多くの地方へ移出され、今も各地に多く遺存し、日々新しい所在確認の報告もされています。

このたび「みちのく丸」の日本海巡航を機会に三国港において当時の笏谷石の移出を再現する計画を提案し、福井新聞社やみちのく北方漁船博物館ほかの協力と支援を頂き実現することができました。石碑は「ふくい笏谷石の会」（会長横山 あきら）が造り、8月5日みちのく丸の木村透船長（船頭）に送り状とともに託され、母港みちのく北方漁船博物館に建立されることになっています。皆さん、博物館へ行かれた際には是非ご覧下さい。

## 2. 記念碑の概要

### (1) 記念碑（尺六野面石）と基礎で構成（写真参照）

- ・野面石（のづらいし）とは、表面に採掘時の鑿跡をのこした状態の石をいう
- ・石碑の寸法は幅1尺、厚さ6寸、長さ3尺（基礎を除く）
- ・重量は記念碑約100Kg、基礎約65Kg 合計165Kg

### (2) 碑文

**前面** 「みちのく丸 / 日本海巡航記念碑 / 晴郷百参叟書」

今も現役で103歳の洋画家 **豊田三郎翁**（福井市名誉市民）の書で、

「晴郷せいきょう」は雅号

**背面** 「平成二十三辛卯年八月吉日 / ふくい笏谷石の会」

### (3)

送り状；船積み時、木村透船長（船頭）に託した送り状は、江戸時代三国の石問屋であった石屋文右衛門の送り状を摸して和紙に筆書きで作成し、折封に入れた古式に沿ったものにしました。

**宛先** みちのく北方漁船博物館 館長 細川英邦殿  
**送り主** ふくい笏谷石の会 会長 横山（あきら）



# ふくい笏谷石の会への事業に協力(2)

子どもたちのための笏谷石ガイドブック製作事業

## 「笏谷石まなびガイド」の制作

### 【事業の目的】

福井市の歴史や文化を活かした個性的で魅力あるまちづくりが必要ですが、長い歴史を持ち市民が身近な文化資源として愛着を感じている「笏谷石文化」についての教材や学習機会がありません。

この事業は、子どもたちを対象に「笏谷石文化」の分かりやすい教材を製作し、見学会や学習会で活用することを目的としています。

